

## 平成27年度第1回みえ森と緑の県民税評価委員会 ご意見

番号	区分	委員の発言内容
1	H25 税込確保課事業	システム改修はスムーズだったか。 また、実際に税の徴収が始まってからの県民の反応はどうか。 徴収に対する苦情、賛同はあったか。
2	H26 森づくりサポート	森林インストラクター養成講座受講生の中で、森林インストラクターになった人はいるか。
3	H26 災害緩衝林、 土砂流木除去	間伐材は搬出しているか。 溪流部から除去した流木はバイオマス等に使うのか。
4	H26 市町交付金事業	普段森林に関わっている立場からすると高額に感じる。工数など、根拠が示されないと高いか安いかわからないという議論はできない。
5	H26 市町交付金事業	なんらかの間伐補助が入っている事業と同時に実施するやり方を認めると、他地域でも安易に同様の事業をやりだして本来の税の主旨から外れていってしまうのではないか。
6	H26 市町交付金事業	市町による基金積立は市町の裁量によるのか。 何年以内に使わなければならない、何%は使わなければならない、などの制約はあるか。
7	H26 市町交付金事業	カヌーなどの体験学習にも範囲を広げていいのか、縛りは必要ないのか。
8	H26 市町交付金事業	森を育む人づくりの公益性について、児童数だけでなく、実際に活動したら森のせんせいに来ていただいてすぐ子どもたちのためになった、とかそういう部分が反映されるようなものがあればよかった。
9	H26 市町交付金事業	学校等への木製品導入と森林学習を行うなど優れた取り組みがあれば、他市町にもアドバイスされるとよいと思う。全体的に、実施しやすい事業を実施しているように感じる。
10	H26 市町交付金事業	森林整備は本来所有者がすべきもの。ここに公金を投入するので、所有者にどういふ働きかけをしたのか、負担を求めたのかの説明もしたほうがよい。
11	H26 市町交付金事業	現地看板や回覧も写しなどで本当に実施したのか知りたい。周知方法無記載の事業については、きちっとPRすることを言わなくてはいけない。
12	H26 市町交付金事業	森林の買い取りは最後の手段と思う。歯止めについて考えはあるか。

注)第1回評価委員会での議論の中で、論点となったご意見のみを抜粋して整理しています。